

第 60 回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

令和 6 年 4 月 17 日（水） 13：00～14：40

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室

3. 出席者

(1) 委員

鈴木部会長、片岡部会長代理、青木委員、石井満委員、石井由梨佳委員、遠藤委員、白坂委員、新谷委員、土屋委員、名和委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 風木局長、渡邊審議官、加藤参事官、三上参事官

(3) 関係省庁

内閣官房国家安全保障局 古田企画官

防衛省防衛政策局 荒戦略企画参事官

4. 議事要旨

(1) 議題「宇宙安全保障に係る防衛省の取組」について、防衛省から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。(○：委員からの意見等)

○衛星コンステレーションの構築は、産業基盤の育成上も重要である。S B I R (Small/Startup Business Innovation Research) 制度で関連プロジェクトが動いており、民間事業者も注視して皆期待しており、官民が一体となり構築してもらいたい。

○静止軌道実証プラットフォームの活用は良いアイデアであり、運用経験を積む機会となるため、是非促進していただきたい。

○衛星コンステレーションの構築に当たっては、光通信技術が重要である。また、S D A (Space Domain Awareness) に関しては、小型化、省電力化、軽量化技術が重要となる。これらは我が国においても追求できる可能性があり、民生分野においても活用が期待できる。

(2) 議題「衛星測位機能の強化」について、内閣府から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。(○：委員からの意見等)

○準天頂衛星システムの信号認証サービスで使用している秘密鍵の管理は、国内外の事例を踏まえ、最高レベルの管理をしていただきたい。

○GPSは、信号認証サービスの配信を行っておらず、我が国がこのサービスの配信を行うことは、国際公共財の提供の意味を持つ。

(3) 議題「宇宙システム全体の機能保障強化のための机上演習成果」について、内閣府から資料に基づき説明を行った。(これについて、特段の議論はなかった。)

(4) 議題「民間宇宙システムにおけるサイバーセキュリティ対策ガイドライン ver.2.0」について、経済産業省から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。
(○：委員からの意見等)

○本ガイドラインは民間宇宙システムを対象としたものだが、官側が運用する宇宙システムにおいても同種の対策は重要である。

(5) 議題「米国防省による宇宙領域での官民連携」について、防衛研究所 福島康仁主任研究官から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。
(○：委員からの意見等)

○米国では、安全保障分野においても官民連携が進められているが、我が国でもそのような傾向になろうと認識している。この分野に関するガイドラインが我が国にもあれば、民間事業者にとり予見可能性が高まるのではないか。

以上